

うめだ・あけぼの学園 発達支援課程
(理念・方針・目標・方法の全体計画)

事業所名		児童発達支援センター　うめだ・あけぼの学園		開所時間と通園形態		午前8時から午後4時45分。親子通園（親子通園室）・単独通園（毎日通園室）で支援を行なっています。単独通園部門では、希望により、通園バスでの送迎を実施しています。	
理念		キリスト教の精神とキリスト教の理念に基づき、子どもたちの個性豊かな育ちを支えたと共に、すべての子どもの自由と平等、社会参加と自立が保障される地域社会を、ご家族と共に築いていきます。					
方針		チームアプローチによる専門的な「発達支援」、子育てを支えるきめ細やかな「家族支援」、タイムリーな縦横連携による「地域支援」の重層的な3つの支援により、子どもの育ちと子育てを支えます。					
目標		さまざまなことに興味と意欲を持って、安全に主体的に活動する子ども。自分の気持ちや考えを、多様な方法で表現する子ども。友だちを大切にして、関わりを広げ深めていく子ども。					
支援の倫理	社会的責任	コンプライアンスを順守し、一人ひとりの育ちに必要な発達支援と子育て支援を保障する地域社会の実現に向けて、具体的な活動と提案を、時代の先を見据えながら行っています。					
	人権の尊重	安心と安全、自由と平等、表現と活動を保障し、一人ひとりの個性とご家庭の文化を尊重した支援を行っています。					
	合理的配慮	安心・安全な過ごしと自発的・主体的な活動を保障できるように、学園内の基礎的環境整備と一人ひとりの育ちに合わせた合理的配慮を、きめ細やかに行っています。					
	虐待防止	家庭内での保護者・家族からの、学園内での職員からの、子どもへの不適切な関わりを予防するとともに、虐待の早期発見と早期対応を、地域関係機関と連携して行います。					
	説明責任	インフォームドコンセントに基づいた支援を提供するために、サービス提供プロセスにおいて、必要な説明を適切な時期に明確に行います。事故等の発生時には、客観的な事実と状況分析、改善策等を、速やかに明確に説明・報告します。					
	個人情報保護	「うめだ・あけぼの学園プライバシーポリシー」に基づき、個人情報の管理を行います。					
	苦情解決	子どもとご家族にとってより質の高いサービスを提供していくために、「意見・要望・苦情等の受付窓口」を設けて、受付内容を検討する機会を日常的に持つとともに、「第三者委員」を設けて適切な対応を行います。					
支援の特色	子ども理解	多職種によるアセスメントに基づき、医学的・生理学的視点、心理学的・発達の視点、保育・教育的視点、環境との相互作用の視点から、子どもの育ちを包括的に理解するとともに、子どもの思いや考え、意図をくみ取って支援を行っています。					
	環境整備	モンテッソーリ教育の環境構成を基本として、物的環境、人的環境、時間の流れを視覚的に構造化して子どもに分かりやすく提供するとともに、一人ひとりに合ったコミュニケーション環境を保障します。					
	発達支援	「うめだ・あけぼの学園発達支援課程」に沿い、包括的アセスメントに基づいた個別的な専門的支援と社会的自立に向けた総合的な支援を提供します。					
	家族支援	子どもの育ちの理解、子どもとの関わり方、子育て支援、ご家族の協力、子育ての仲間づくり、就園や就学への移行支援など、幅広い視点からの支援を、うめだ・あけぼの診療所、うめだ・あけぼの子ども相談支援センターと連携協力しながら行っています。					
	地域支援	うめだ・あけぼの学園地域支援部、うめだ・あけぼの子ども相談支援センターとともに、子どもが利用する関係機関との縦横連携を通して、地域ネットワークを構築していきます。					
発達支援の内容							
対象児 項目		Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ	
		0歳・1歳・2歳児（親子通園室）		3歳・4歳・5歳児（親子通園室）		3歳・4歳・5歳児（毎日通園室）	
養護	生命の維持	安心・安全な環境を用意し、健康状態を保護者と共有し、うめだ・あけぼの診療所と連携しながら、健康管理を行います。					
	情緒の安定	親子の愛着関係を基盤にし、適切な支援者との関係性と望ましい子ども同士の関わりを保障するとともに、一人ひとりに合った安定した分かりやすい環境の中で、情緒の安定を図ります。				分離不安なく過ごせるように、適切な支援者との関係性と望ましい子ども同士の関わりを保障するとともに、一人ひとりに合った安定した分かりやすい環境の中で、情緒の安定を図ります。	
発達支援	健康・生活	健康状態の維持・改善をはかり、規則正しい生活リズムと生活習慣を身に付け、基本的な生活スキルを獲得できるように支援します。					
		生活リズムと食生活を整え、身辺自立の意欲を育てています。		生活リズムと食生活を整え、排せつ、着脱など基本的な生活行動を育てています。		安定した園生活の中で生活リズムと食生活を整え、排せつ、着脱、食事、手洗い、歯磨きなどの基本的な生活行動を育てています。	
	運動・感覚	必要に応じて補助的手段を活用しながら、姿勢、運動、動作の向上を図っていきます。固有の感覚特性に配慮し、感覚特性の強みを生かしながら感覚を総合的に活用し、主体的に活動に取り組めるように支援します。					
		自発的な移動手段の獲得と姿勢の安定、身体の協応動作を育てています。感覚への適応と集中を促していきます。		道具や活動に合わせた姿勢と運動の調整力を育てています。感覚への適応と集中、活用を促し、主体的・適応的に身体を使って外界に関わる力を育てています。		道具や活動に合わせた姿勢と運動の調整力を育てています。感覚への適応と集中、活用を促し、主体的・適応的に身体を使って外界に関わる力を育てています。	
	認知・行動	感覚・運動の協応と高次化を図り、ものの弁別、分類、比較、系列化、空間や時および数などの概念を育てています。自己、他者、外界（周囲のものごと）の適切な認知を育てることを通して、環境の中での適切な行動を育てています。					
		遊具への関わりを通して、感覚と運動の協応、目的的な遊具・活動への関わりを育てています。		遊具・教具への関わりを通して、弁別や系列化、空間理解、数への興味などを育てています。		モンテッソーリの感覚教具等を通して、弁別、系列化、空間理解、数の理解などを体系的に育てています。	
	言語・コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力を育み、一人ひとりに合ったさまざまなコミュニケーション手段及びAACを活用しながら、コミュニケーションと言語の体系的な理解と表出を育てています。					
		親子関係を基盤にしたコミュニケーションの中で、身近な言葉の理解と発声や仕草、サインを促し、発語を促していきます。		おとなや友だちとのコミュニケーションを通して、ことば及びさまざまな方法で気持ちや考えを伝え受け止め、やり取りする力を育てています。言語（概念）の体系的な理解を進めます。		おとなや友だちとのコミュニケーションを通して、ことば及びさまざまな方法で気持ちや考えを伝え受け止め、やり取りする力を育てています。言語（概念）の体系的な理解を進めます。	
	人間関係・社会性	他者との関わりを育て、自己の理解と行動の調整、仲間作りと集団への主体的な参加を育てています。					
		親子関係を基盤として、他の大人や他児に関心を示して関わり、平行遊びや連合遊びを楽しめるように育てています。		連合遊びや協同遊びを楽しみながら、規律やルールを身に付け、主体的に集団に参加していく力を育てます。		クラス活動やいんくる保育でさまざまな友だちと関わる中で、自己理解と友だち理解を育て、規律を守り、自分の役割を担いながら、主体的に集団参加を楽しめる力を育てます。	
	表現	さまざまな事象に触れる中で豊かな感性と想像力を育み、感じたことや考えたことを自由に表現したり創造する力を育てています。					
		触覚、視覚、聴覚、身体活動など感覚と運動を使った遊びを十分に楽しんでいます。		感じたことや想像したことを、音楽、描画、製作、身体活動などを通して表現していきます。		自然や様々なことに触れながら、感じたことや想像したことを、音楽、描画、製作、身体活動などの通して表現していきます。	
食育	季節感があり家庭的で食のバランスのとれた給食を提供し、食に必要な機能とスキル、知識を身に付けるとともに、食を通してコミュニケーション、文化とQOL、健康への意識を育んでいきます。						
	離乳食から幼児食への進め方を保護者と共有し、バランスよい食習慣と口腔機能を育て、食を楽しんでいます。		食のスキルと知識を身に付け、食に関わることに関心を持ち、バランスよい食事を楽しんでいます。		給食を楽しく食す中で、食に必要な機能とスキル、知識を身に付けるとともに、給食当番や調理活動を通して社会性、文化とQOL、健康への意識を育てています。		
地域交流・園外活動	地域の公園等での遊びを楽しんだり、地域の施設訪問や地域の人との交流を通して、社会的経験を増やしていきます。						
	家族交流会、園外散歩等を通して、地域の中での遊びを経験していきます。				親子遠足、園外散歩、施設訪問等を通して、地域の中での遊びや地域の人々との触れ合いを経験していきます。年長児は、サマーキャンプ（宿泊を伴う支援）に参加します。		
行事等	親子遠足、家族交流会、まなび広場（発達支援体験型学習会）、就学のための保護者講座、からしだねフェスティバル、クリスマス会、等を実施しています。						
移行支援 （就園・就学支援）	就園、就学に必要な相談の機会、さまざまな情報提供や研修の場を設け、子どもの育ちの理解と将来像を見通しに基づいた適切な移行決定を、主体的にできるように支援します。						
	情報の提供と研修の場を設けます。		3歳児から就学支援手帳を活用し、就園・就学についての相談を行います。就学支援講座や就園についての研修、情報提供を行います。就学先との連携を行います。		3歳児から就学支援手帳を活用し、就園・就学についての相談を行います。就学支援講座や就園についての研修、情報提供を行います。就学先との連携を行います。		
家族支援	子どもの年齢にそった子育てと、育ちの特性に合わせた子育ての工夫を、発達の視点からサポートします。また、保護者同士の仲間作りの場を提供していきます。きょうだい児を含めた子育てにおける悩みや困難さを、相談支援事業所等との連携によって解決方法を考えていきます。虐待予防・防止プログラムに添って、虐待の早期発見と対応を行います。在園児、卒園児の父親を中心に組織されているおやじの会との連携、全国障害者とともに歩む兄弟姉妹の会の活動にも学園職員が携わっています。						
	親子のコミュニケーション遊びプログラムに基づく子育て支援、専門的発達の視点に基づく子育て支援を行います。		子どもの育ちの特性とご家族の状況に合わせた子育てを、専門的発達の視点に基づいて行います。		子どもの育ちの特性とご家族の状況に合わせた子育てを、専門的発達の視点に基づいて行います。		
保健・衛生環境の整備	うめだ・あけぼの診療所と連携し、子どもの医療的配慮事項、健康状態を把握するとともに、衛生的で安全な環境を整備・維持し、感染症の発症・蔓延を予防します。また、診療所、学園、家庭の連携により、アレルギーのあるお子さんに給食を安全に提供します。子育てに必要な保健・衛生情報を保護者に提供するとともに、子どもへの衛生・健康教育を行います。						
安全対策・事故防止	乳幼児期の子どもにとって必要な安心・安全な物理的環境を準備し、定期的に点検・維持し、ヒヤリハットを活かして事故防止に努めます。搜索訓練、救命訓練、不審者対応訓練等を実施し、職員、保護者、子どもへの安全教育を行っています。						
防災・防災教育	うめだ・あけぼの学園年間防災計画に基づき、適切な防災環境を維持し、月1回以上の避難訓練、水害訓練、お迎え訓練等を行い、職員、保護者、子どもへの防災教育を行っています。						
職員育成・研修	全体での職員研修と、勤務年数に応じて、求められる職務内容に応じたテーマで年次研修を実施しています。また、各職員のキャリアプランに応じて、計画を立て外部機関が実施する研修に職員を派遣しています。						